

都島区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第12号

平成30年2月発行

簡単リメイククッキング開催!!

平成30年1月30日(火)都島区食生活改善推進員協議会と都島区保健福祉センターのご協力をいただき、都島区保健福祉センター 分館で盛大に開催しました。

ご家庭の定番メニュー「肉じゃが」が「オープンオムレツ」「チヂミ」「いももち」に変身し、餃子の皮で包んだ「バナナサンド」を作りました。

アイデア一つの簡単料理で、楽しく美味しいと大好評でした。



調理実習の様子



出来上がった料理

もったいない! 食べられるのに捨てられる
「食品ロス」について考えてみましょう

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間621万トンとされています。

これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(平成26年で年間約320万トン)のおよそ2倍です。これを日本人1人当たり換算すると、毎日お茶碗約1杯分(約136g)のご飯の量になります。

「生ごみ3きり運動」
に取り組もう!!
使いきり…食材は無駄なく
食べきり…料理は残さず
水きり…水気をきる

「ごみのゆくえを知ろう！バスで行く 施設見学会」をやっちゃえ～。

北部センターでは、廃棄物減量等推進員を含む、都島区民を対象に「ごみのゆくえを知ろう！バスで行く施設見学会」を実施します。

日頃、推進員の皆様は地域の住民の方から、ごみに関する様々な質問を受けられることがあると思います。例えば「このごみは何処で、どのように処理・処分されているのか？」や「本当にちゃんと分別されているのか？」等ではありませんか？

そこで！今回、大阪市の代表的な焼却施設「舞洲工場」と、最終処分場「北港処分地」を見学していただき、家庭から出るリサイクルできないごみの焼却や、焼却後の灰などが埋め立て処分をされている状況を見ていただきたいと思います。

- ・日 時：平成30年3月5日(月) 12時30分～17時30分
- ・集合場所：都島区民センター前 12時30分集合
※12時30分までに受付を行って下さい。
- ・募集人員：40名 無料（申込者多数の場合は抽選）



★左の写真は2001年竣工の舞洲工場で、まるで、遊園地のテーマパークを思わせる斬新な建物です。近くにあるユニバーサルスタジオと間違える人がいるとかいないとか？

外観は、ウィーンの芸術家、「フンデルト・ヴァッサー」によりデザインされ、廃棄物処理の施設としては全国的に有名な焼却工場です。年間見学者は約17,000人にのぼります。



★左の写真は此花区沖にある広さ385万平方メートルの人工島「夢洲」で、2025年大阪万博が開催されれば会場予定地となります。

ごみの最終処分地は、このうち約73万平方メートル(甲子園球場の約19倍)を使用しています。



《編集・発行》

大阪市環境局 北部環境事業センター
大阪市北区同心2-8-14

TEL:06-6351-4000 FAX:06-6351-4049

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

